

学 会 記 事

第11回研究報告全国大会

第11回研究報告大会は1990年11月10～11の両日、東洋大学朝霞キャンパスで開催された。共通論題「1992年 EC 統合と世界」という、目下最大の関心を集めている領域ということもあって、報告、フロアからの質疑ともに、熱気あふれる雰囲気終始した。共通討論の多さも特徴であった。

加えて、EC 委員会代表部の Seamus Gillespie 氏の講演も参加者の興味を引いた。

第一日目の日程終了後、東洋大学の好意のもとに盛大な懇親会が行われた。今回の大会プログラムは次の通りであった。

[プログラム]

第 1 日 (11月10日)

午前の部 (10時～12時)

司会者 鴨 武彦 (東京大学)

(1) EC とソ連・東欧の改革

田中 俊郎 (慶応義塾大学)

(2) 1992年統合とエスニシティ

梶田 孝道 (津田塾大学)

昼食休憩 (12時00分～13時15分) この間理事會

総 会 (13時15分～13時30分)

午後の部 (13時30分～15時30分)

司会者 田中素香 (東北大学)

(3) 西ドイツに見る1980年代の EC 共通農業政策の改革

中林 吉幸 (東北大学大学院)

(4) 欧州経済通貨統合計画の展開

島崎 久彌 (関東学院大学)

講 演 (15時40分～17時)

紹介 山手治之 (立命館大学)

European Integration : Impact on World Trade and Capital Flows.

Seamus Gillespie (駐日 EC 委員会代表部)

懇親会 (17時10分～19時10分) 図書館地下食堂

第2日 (11月11日)

午前の部 (10時～12時) 司会者 出水宏一 (東京電機大学)

(1) 中・東欧の変化と EC 島野貞爾 (学習院大学)

(2) ドイツ統一に向かう東ドイツにおける法および経済基盤整備について

小林公司 (北海道東海大学)

昼食休憩 (12時～13時15分) この間理事会

総会 (13時15分～13時30分)

午後の部 (13時30分～14時30分) 司会者 山手治之 (立命館大学)

(3) EC 会社法の現状と可能性 奥島孝康 (早稲田大学)

(4) 全体討論 共同司会者 金丸輝男 (同志社大学)

(14時40分～17時) 田中素香 (東北大学)

出水宏一 (東京電機大学)

役員の変更

1990年は役員の変更年であったが、役員は全員再任された。理事長は立命館大学の山手治之教授から同志社大学の金丸輝男教授に変わった。役員のリストは巻末に掲載のとおりである。